

第二回運営委員会

支えよう、つなげよう、緑野力
～できる時に、できる事を、できる範囲で～

日時：令和4年10月22日（土） 10時00分～11時00分
開催場所：緑野中学校 2F会議室
出席者：先生2名 役員8名 委員・サークル代表9名 合計19名

I. 挨拶

【PTA会長 後藤さえ】

早くも後期に入りました。昨年、一昨年と、コロナで中止されていたイベントが、対応をしながら3年ぶりに実施と、新しい形が求められています。PTA活動も今の時代に合う活動内容を考えていきたいと思いますので、今日は皆様のご意見もいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

【飯島 博之校長先生】

9/27 連合陸上競技大会で男女とも優勝しました。お手伝いありがとうございました。10/29には合唱コンクールがあります。こちらもお手伝いよろしくお願いいたします。また、11/3には連合文化発表会があり、吹奏楽の発表があります。

【堀 孝浩副校長先生】

前期の花鉢プレゼントでは、地域の方からのお手紙を沢山いただきました。みなさんのお目にかかれるように対応していきたいと思います。後期はコロナも落ち着いてきましたが、インフルエンザも懸念されています。受験や2年生のスキー教室もありますので、生徒の安全も含め活動していきたいと思います。

▼各学年の先生方から、生徒たちの様子のコメントをいただきました▼

★1年主任 竹内 宇宣先生より★

4月から中学校生活もあっという間に100日が経過し、生徒たちのあどけなかつた表情も次第に中学生らしくなりました。前期では、中学生として初めての定期考査を2回経験し、中学校のテストの傾向や自身の勉強の仕方にも少し慣れ、工夫が見られてきました。また、前期の終業式後には前期の通知表も受け取り、中学校の学習や成績の付け方等を目にし、後期に向けた目標を新たに立てた頃かと思えます。

学年としては10月13日（木）に社会科見学を無事実施することができました。社会科見学に向けた班編制を行い、学級委員と班長、副班長を中心に事前学習を進め、自分たちが訪れたい場所に行くことができました。同じクラスで半年を過ごし、仲はずいぶん深まっていますが、社会科見学に向けた活動を通して、さらに班のメンバーやクラスの仲も良くなったように思います。

生徒は行事を通して成長するとよく言われます。当日に向けた活動や当日の行動でも、成功したことや失敗したことがありますが、横浜の街中では普段学校の中では見られない笑顔やお互いにコミュニケーションをとっている姿をたくさん見ることができ、こちらも笑顔になりました。この行事は生徒がまた一回り成長するきっかけになったのではないかと思います。

現在は事後学習として見学地をまとめたスライド資料を作成し、発表会を行っています。中には非常に凝ったものを作成している生徒もあり、生徒たちのまとめる力、発表する力に驚き、ここでも成長を感じています。これからの成長が楽しみです。

学年の大きな行事は終わりましたが、次は合唱コンクールに向けて各クラス最後の追い込みに入っています。2・3年生も初めての合唱コンクールとなるため、手本になるもの、予想がつくものがないのですが、生徒たちは毎日試行錯誤しながらも充実した練習を行っています。声量も予想以上にあり、1年生のフレッシュさ、初々しさを思い切って表現してくれるといいなと思います。

合唱練習を通してのどが疲れたり、気持ち的にも疲れが溜まっているお子さまもいらっしゃるのではないかと思います。寒暖の差も激しくなり、体調を崩しやすい時期ですので気になることがあれば早めに担任や学年にご連絡頂けるとありがたいです。今後ともよろしくお願いいたします。

★2年主任 松村 洋先生より★

季節が移ろうのは早いもので、猛暑の夏が終わるやいなや肌寒い秋となりました。4月の保護者会でもお伝えしましたが、2年生は行事の多い学年です。4月の英語校外学習に始まり、6月の体育祭、そして中間考査を挟んで7月の社会科見学と続きました。校舎内では幼い行動がみられる生徒がまだまだいますが、いざ学校の外に出ると公衆マナーやルールをしっかりと意識した行動をとることができました。私たち教員も常日頃からマナーやルールに大切さについて話していますが、やはり“体験”(私たちは体験的学習と呼んでいますが)を通じて学んだこと、実感したこと、そして得たものは大きかったようです。体育祭、中間テスト、社会科見学の準備が合い重なる時期もありましたが、生徒たちはひとつひとつの取り組みに一生懸命向かい合っていたと思います。

一方、夏休み明けの9月早々に行われた期末考査では、テストに向けた準備に個人差があらわれた感がありました。夏休み前に生徒に次のようなことを念押ししておきました。期末テストには6月後半からの学習内容も出題される、それを夏休み中に復習せず2ヶ月以上も前に習ったことも含めて9月に入ってからテスト勉強ではぜったいにこなさきれないということです。“個人差”がというのは夏休み中から準備していた生徒とそうでない生徒の差だと思います。

10月3日に前期を振り返る学年集会を開きました。主に学級委員の生徒たちの話で進める会でしたが、行事についてはまわりの人と協力できた、それぞれの人がしっかりと責任を果たせた、などのコメントを発表していました。学級委員は毎時間のようにクラスメートへの声かけをして、授業の準備やチャイム着席を呼びかけてくれています。その結果のコメントとして、クラス全体としては落ち着いて授業ができるようになった、ただ特定の人になかなか声かけに応じてくれない、授業中寝てしまうなどの指摘もありました。これも“個人差”ということになるのでしょうか。私たちの方からは、中学校生活も後半に入り、進路という言葉もちらつく中で、前段で述べたテストへの取り組みなど、同じような失敗は今後できないということ。その中で後期からは学校の中心的な役割を果たすべき立場になり、さらに来年度は最上級生としてさらなる上積みをしてほしい、という課題を与えました。これまでの経験から、生徒は気がつけば(特に3年生になると)著しく成長していくものです。今後もテストを挟みながら合唱コンクール、職場体験、スキー教室と大きな行事が続きますが、生徒たちの頑張りと成長を信じ、今後も指導・支援を続けていきます。保護者の皆さまにもご理解とご協力をいただけたら幸いです。

★3年主任 澤田 江利子先生より★

今、3年生は合唱コンクールに向けて、朝練・昼練・放課後練と熱心に練習をしています。昨年度は指揮・伴奏の発表会という形で実施されたので、実質、今年が初めての合唱コンということになります。本来なら先輩の姿に影響を受け、「3年生はこうあるべき」という思いをもって臨むはずなのですが、模範とすべきものがない中で、どのように歌を、舞台を、行事を作り上げていくのか彼らの力が試されることになります。練習が始まって3日目ですが、朝から大きな声が学校中に響き渡っています。まだまだ音取りもままならぬクラスがほとんどですが、本番でステキな歌が聞かせられるよう、我々教員も応援していきたいと思っています。

また入試に向けて、授業にも一生懸命取り組んでいます。日頃の小テストからも以前より丁寧に学習しているのが伝わってきますし、何より授業を受ける姿勢が前向きで良いです。

ちょうど1年前の今頃、国語の授業から短歌をいくつかご紹介させていただきましたが、今回は俳句から生徒の気持ちがよく伝わるものを紹介したいと思います。

- ・夏終わり 輪郭なぞる 「引退」の
- ・暑い夏 厚い課題に 潰される
- ・紙の山 受験勉強 夏の山
- ・好きなのに 次の桜は 見たくない
- ・夏季大会 流す涙は どの思い
- ・受験期に 映画出すなよ ONE PIECE
- ・宿題が 入道雲と 同じ色
- ・冬の朝 お守り持って 闘いへ

体育の授業では、ダンスの発表会も行われました。一人一人のダンススキルもなかなかですが、フォーメーションやストーリー等、演出が工夫されていて体育館は大盛り上がり！ここにセットがあればライブ会場かと思えるグループもありました。今年度から男女共修となりましたが、とっっても楽しそうに仲良く取り組んでいて、どのクラスもいい雰囲気！土屋先生のアナウンスも効果抜群でしたし、他学年の先生方も見に来てくださり、教室とはまた違った一面を見ることができました。

受験生ではありますが、学校生活を充実させ、卒業までの残り100日を有意義な日々にしてほしいと思います。保護者の皆様におかれましては、何かと不安なことも多いかもしれませんが、いつでもご相談にのりますので、何かありましたら遠慮なくお声がけいただけたらと思います。後期もどうぞよろしくお願い致します。

2. 活動報告

役員(会長)

主に中P連の活動について報告します。7月には校長会・中P連共催で合同進路説明会を行いました。

9月には連合陸上の応援に行き、現在は要望書を区の職員と話し合い進めております。

役員(副会長)

地域の方との会合など参加しました。生徒会とのコラボ(要望書から)を行いました。以下要望書の議案にて報告いたします。

委員・サークルより

3年学代

なかなか集まらない中で、担当分けをして活動しています。
卒業記念品の発注を行いました。学年費の使い道をこれから考えます。

2年学代

特にありません。

1年学代

合唱コンクールで記念品を配布する予定です。

広報委員

2回目の発行準備を進めております。

文化委員会

花鉢→夏休みに地図起こしを行い、当日花鉢の配布のお手伝いをしました。
合唱コンクールでは受付の協力員への対応、外のパトロール、入れ替えの誘導などを行います。

推薦委員

グーグルフォームを使用して1・2年会員の6割の回答があり現在集計しています。
みなさんの良いお返事がもらえるようにご協力よろしくお願ひいたします。

校外委員会

活動報告通りですが、夏祭りが中止になり(パトロールなし)映画村は直前のキャンセルになり残念でした。
これからはデイキャンプがあります。

バレーボールサークル

12月10日に大会があり、9月から練習を再開しました。全試合勝てるように練習に励んでいます。

卓球サークル

10月総P連、12月P連大会があります。試合に向けて頑張っています。

いけばなサークル

書面の通り活動しております。

3. 議案

議案 ①中間決算報告(会計より)

- 中間決算については、別途書面をご確認ください。
- 補足説明として、雑収入は花鉢の助成金です。
- 運営費のうち、通信費が現時点ではあまり使われていません。また、活動費の支出は、各委員・サークルへの仮払いの金額となっています。
- 合唱コンの仕事として文化、広報委員の方がバスを利用される場合は各委員の活動費で清算ください。
(領収書の必要はありません)

議案 ②花鉢プレゼント(文化委員担当役員より)

- 学校、町会、委員、協力員、生徒の協力の元、花鉢440鉢を配布いたしました。
- 地図で見つからない、不在、施設に入った等で戻ってきた鉢もありましたが、大成功に終わることができました。
- 生徒84人 保護者64人が参加いたしました。
- 3年ぶりに生徒が配布を行い、保護者が配布した先では生徒が来るのを待っていた方もいて、来年度は生徒の人数が増えるように声かけを早めに行っていきたいと思ひました。
- 地図起こしの作業が必要かどうかは来年度の課題です。

<不在の対応について、班の人数を減らす、子どもの住んでいる地域を考慮しての配布などの意見もあり、来年度に向けて検討することになりました>

議案 ③要望書状況報告(会長より)

今年8月に、中P連として中野区に対し、正式に要望書を提出いたしました。内容は統一要望と各校要望に分かれていまして、緑野中としては、御覧のような内容を要望書に盛り込みました。

これに対し、中野区と中P連会長会とは、10月から11月にかけて、区長・教育長、教育委員会事務局幹部そして教育委員と3度の懇談会を通じて要望書の内容について話し合ったあと、予算が付くかどうか決定していくわけですが、これを聞いただけでも、なかなか時間がかかるものだ、とご理解いただけるかと思ひます。

そこで、今年のPTAとしては、今の予算でできる事があるのではないかと考えました。4番目にある「トイレ入口のドア設置」、これは生徒会からの要望で、北校舎のトイレが、廊下から丸見えで恥ずかしい、という声を拾ったものです。これならできる！ということで、PTA会費2万円程度ですが、使わせていただきました。

(写真を提示して)生徒会の皆さんと打ち合わせを通じ、このような形でお届けさせていただきました。あとは、生徒会の方で、文字を入れたり、生徒会キャラクターのカエルのマークを付けるなど、検討するようです。

令和4年度 改善要望書 緑野中各校要望内容

No	要望事項	新・継
1	地下体育館カビ対策	R3年～ 継続
2	校庭の照明設置	R元年～ 継続
3	廊下蛍光灯のLED化	新
4	トイレ入口のドア設置	新
5	準備室・生徒会室へのエアコン設置	H30年～ 継続



議案 ④スママチ状況(会長より)

もともと中野区の保護者向けメールで「学校配信システム」というのがあり、職員室の固定のパソコンからしか発信できませんでした。そこで、自然災害時や校外学習先からの連絡としても使えるマメールという民間サービスを、PTAとして入り、学校にも使っていたいていました。

ところが、今年の4月から学校配信システムが民間サービスの SumaMachi に変わり、PTAとしても発信できる、ということだったので、9月からテスト運用ということで、PTAもマメールでなく SumaMachi を使うことしております。

いずれにしても、どこからでも発信できるので、マメールを利用する意味がなくなってきたかな、と感じております。そこでもう少しPTAも学校からの案内も SumaMachi で実施してみまして、12月後半をめどに運営委員会メンバーの皆さん SumaMachi だけで問題ないか、アンケートにてご意見を伺います。マメールを解約すれば年間 36,000 円の費用が浮くことになります。

議案 ⑤PTA会費について

減額検討

コロナ禍によりイベントが中止になる中で、PTAの効率化や保護者の関係づくりなど、色々考えさせられました。その中で、会費の使い方は今一度改めて確認したいと思います。ただ会費については総会決議が必要なので、今期協議して、3月に承認、来年の総会決議にできればと思います。

先にPTA役員からの意見を話させていただきます。

まず、会費の減額について。PTA会費はコロナ前までは現金集金でしたが、コロナ禍で送金に変更しました。そのため、ネットバンクなどで送金手数料がかからない人もいれば、かかる人も一部発生していると思われます。この分を減額する場合、たとえば一人当たり 200 円減額すると、400 家庭だとすると8万円の減額になります。全体の予算の5%強になり、ちょっとインパクトが大きいです。コロナで出費が減ったからと減額すると、今後リスクがあります。

次に、先生の会費の減額も考えました。中間決算を見ていただいてもわかるかと思いますが、先生が受益されることが殆どありません。PTAは先生と保護者の会ですが、関係は保ちつつも受益者負担の観点から減額するのはどうか、と考えます。具体的には、先ほどのマメールで 36,000 円減ることが確実になるなら、先生 30 名弱、おひとり 1000 円減額の 2000 円がよいのかな、と考えます。先生方、皆様、ご意見いかがでしょうか？

<配慮は良い・ありがたい、他校でも差がある例もある、同額の方がよいのではないかと、等意見あり>

では、先生のPTA会費の減額も SumaMachi 同様、12月に一度アンケートを取らせていただきます。会議を改めて開催しないで決議に持っていきたいと思っております。ご意見あるかたはもちろん、よろしく願います。

サークル活動位置付け再確認

一方的ではありますが、もう一点、PTA会費の用途の一つであるサークル活動の位置づけについて、お話をさせていただきます。緑野中では今年からいけばなサークルが発足しました。

また、中P連にも属するバレーと卓球では、今年から大会場所の費用は中P連が負担するものの、審判代や諸費用は参加者が負担頂くようになっております。PTAは保護者同士のつながりを作る役割があるので、サークル活動の機会創造の費用は必要だと考えます。

これだけ自然災害のある中で、PTAは保険のような存在になると思います。いざというときに助けあえる自助・共助の関係があれば私たちも子ども達も安心です。サークルさんたちにも頑張ってもらって、顔つなぎもしていただければと思います。いけばなサークルにつきましては、学校内で、発表の機会をいただけるとありがたいと思っておりますが、先生方、いかがでしょうか？皆さんのご意見もよろしく願います。

<周知という場であれば、作品展(例年は2月、今年度は1月)に展示してはどうか、毎月の学校公開の受付で展示してはどうか、という先生からのご提案がありました。サークルの先生とも検討いただくことになりました。>

4. 報告事項

①合唱コンクール

(役員より)10/29 に3年ぶりの開催、受付は協力員。会場では、文化・広報が委員活動として動きます。

(副校長先生より)学校評議員が来られます(審査委員席の後ろが学校評議員席になります。)

保護者は学年ごとで総入れ替えになります。

②今後の行事予定

(役員より)11/30 に給食試食会を行います。

お手紙を配布しますので、是非ご参加ください。

以上

次回の運営委員会日程
第三回 3月11日10時～ 会議室